

平成30年 3月 22日

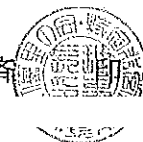
熊本市長 大西 一史様

郵便番号

住所

団体名 特定非営利活動法人 優里の会

代表者 職名 理事長 氏名 八谷 斉



熊本市市民公益活動支援助成金実績報告書

平成29年4月1日付け指令（地活）第1－8号により、熊本市市民公益活動支援助成金の交付決定を受けました事業の実績について、熊本市市民公益活動支援基金実施要綱第20条の規定により、関係書類を添えて下記のとおり報告します。

記

1 助成事業名

「里親制度の普及啓発と支援を強化するための事業」

2 助成事業の実施期間

平成29年4月1日 ～ 平成30年3月20日

3 助成事業の内容

- ・里親制度の普及啓発と児童の福祉を考えるための講演会・研修会
- ・区民祭り等において、広く市民に里親制度を理解してもらえるような広報啓発活動

4 事業の成果

この事業を通して、里親制度を社会一般に知らしめることや社会的養護の必要な子どもたちに何が必要かを考える機会を設けることができた。

5 助成事業の実施状況

- (1) 事業収支決算書（様式第16号）
- (2) 事業の経過又は成果を証する書類等
- (3) その他参考となる資料

事業報告書

実施年度	平成２９年度
事業名	「里親制度の普及啓発と支援を強化するための事業」
事業期間	平成２９年４月１日 ～ 平成３０年３月２０日
事業の目的	・当法人は、社会的養護を必要とする子どもたちが、家庭そして地域社会で育まれ、健全な発育を経て、それぞれの能力を十分に発揮でき、自立した社会の一員となるための環境整備に関する事業を行うことで、次世代育成に寄与することを目的としている。 ・当法人の存在、活動を世間に知らしめるために、また社会的養護を必要とする児童に必要な事項を行政、施設、里親等の関係者やその他関心がある者に対して、研鑽の場として講演会を企画実施する。 ・各区民祭り等において、里親制度と社会的養護の必要な子どもたちのためには里親制度の普及が今後益々重要になってくることを市民に対して広く普及啓発する機会とする。
具体的な事業内容	【事業の概要】 毎年、里親制度の普及啓発を目的として講演会を開催しているが、本年度は福祉の専門家として働きながら養育里親として里子を養育中の講師と実子である里姉に「里親になってみてきたこと」を話してもらうことで、支援する側、同じ里親、制度に興味がある参加者へ、里親の気持ちを伝えるための講演会を開催した。 また、一昨年度から行っている区民祭りなどにおいて、広く市民に里親制度を理解してもらえるような広報啓発活動を行った。 １ 里親支援を考える講演会 ・子どもの福祉に関わる関係機関が、里親制度を普及啓発し、その支援をどのように充実させて行けば良いかを考えるため、また制度に関心がある者に対して里親のことを知ってもらうための講演会を開催。 ○講演会の開催 ・日時：平成２９年６月１０日（土） ・場所：熊本県総合福祉センター 研修ホール ・内容：専門家による里親体験談 ・参加者：一般市民、里親、行政職員、施設職員、福祉関係者等７５名 ◆講師謝礼金：４０，０００円（１５０分） ◆講師交通費、宿泊費：６２，４６０円（京都府より招聘、２人１泊） ◆会場使用料：１６，７００円 ◆スタッフ交通費：４，０００円 ◆託児、雑費：８，７７６円 ○準備 ◆チラシ、ポスターデザイン料：２０，０００円 ◆チラシ、封筒印刷代：２８，５３０円 ◆郵送費：１９，６７２円 ◆事務費：１３，２２５円

	2 区民祭りで里親啓発 ・熊本市の各区民祭りにおいて、里親制度の必要性を市民に広く認知してもらえるよう啓発活動を行った。 ○啓発コーナーを設ける ・日時：平成29年11月～平成30年3月 ・場所：各区区民祭り開催地及び男女共同参画センターはあもにい ・里親制度の普及啓発に関する展示及び説明 ◆掲示物制作費（材料費）：30,000円 ◆チラシ、ポスター等印刷代：5,000円 ◆粗品代：17,755円 ◆スタッフ交通費：8,000円 ◆事務費：14,040円
実施場所	熊本県総合福祉センター研修室・各区役所・男女共同参画センターはあもにい
事業の効果 ・公益性	・里親支援を考える講演会を開催したことで、里親養育の現状をより具体的に知ることができたと考える。それは、実子も含めた家族のあり方や里子の養育のあり方の苦勞であったり、里親養育のやり甲斐であったり、今後の里親支援のあり方に大変参考になるものだった。 ・区民祭りやはあもにいフェスタにおけるパネル展は、多くの市民に対して里親制度をしていただく良い機会になった。アンケート調査も行うことで、里親制度についての市民の意識も知ることができて、今後の啓発活動に参考になるものであった。
次年度以降の 事業展望	・里親制度の普及は、社会的養護の必要な子どもたちや関係者だけの課題でなく、一般の子育てを社会でどのように支えて行くかとリンクするものと考え。そういった意味では、行政だけでなく、地域にある子育て支援団体や一般の企業にも、この里親制度に関心を持ってもらえるよう一層工夫した啓発活動を行っていきたい。
事業への想い （当事業によって どのような熊本市 にしていきたいか）	厚生労働省の調査では、69都道府県及び政令指定都市の中で、熊本市の里親委託率は、下から8番目という状況である。この事業を通して、多くの市民が里親制度に感心を持ち、何が出来ると行動を起こすきっかけになることで、熊本市が子育てに優しいまちに変わっていくことを目指していきたい。

事業収支決算書

項 目		金 額 (円)	内 訳
収 入	自己資金	98,158	講演会費 500円×75名=37,500 ----- その他 60,658円(団体資金)
	市民公益活動支援助成金	190,000	当該事業助成金交付決定額
	その他の補助金・助成金		
	寄附金・協賛金		
	その他		
	計	288,158	
支 出	助成対象経費	人件費	0
		報償費	40,000 講師謝礼金
		役務費	19,672 郵送費 (¥68×264通、¥80×1通、¥82×20枚)
		使用料・賃借料	16,700 講演会会場使用料
		事務費	108,550 チラシ、ポスター等印刷代33,530円 用紙・封筒・文房具代等27,265円 掲示物制作材料費30,000円、粗品代17,755円
		旅費	74,460 講師交通費46,460円、宿泊費16,000円 スタッフ交通費¥1,000×12人
		委託費	28,776 チラシ・ポスターデザイン料、託児費、支払手数料
		雑費	
		小計	288,158
	助成対象外経費		
		小計	
	計	288,158	